お　知　ら　せ

2026 年 11 月 1 日
ばんえい十勝

11 月 1 日(日)「第 51 回ばんえい菊花賞」(BG2)の結果

～3 歳路線二冠目はホクセイイワキヤマ号が鮮やかな差し切り勝ち！重賞 2 勝目を飾る！～

2026 年 11 月 1 日（日）に行われた「第 51 回ばんえい菊花賞」(3 歳オープン・BG2）は、単勝 1 番人気のホクセイイワキヤマ号が第二障害 3 番手から鋭い伸び脚で鮮やかに差し切り優勝しました。

馬場水分 1.6%、ばんえい重量 670 ㎏～710 ㎏で行われた本レース。各馬軽快にスタートし、先頭で第一障害を越えたコトブキラベンダー号がレースを引っ張ると、中間点を過ぎても息を入れることなく進む速いペースでばらけた展開となります。中間点と第二障害の間でようやく息を入れるとヤマトテンショウ号が並びかけ、2 頭が一進一退の攻防を見せながら、わずかにコトブキラベンダー号が抜け出したところで第二障害下へ到達します。

ひと息入れると、第二障害下に各馬が揃う前にいち早く仕掛けたのはヤマトテンショウ号。そのままぐいぐいと力強く先頭で障害をクリアし、コトブキラベンダー号が 2 番手で続きます。

障害を下りた勢いで先頭に並びかけるコトブキラベンダー号と、粘り込みを図るヤマトテンショウ号。3 番手以下を大きく離したこの 2 頭の一騎打ちかと思われましたが、3 番手で障害を下りたホクセイイワキヤマ号が絶好の手応えで脚を伸ばします。残り 10m のところで先頭のヤマトテンショウ号を捉えると鮮やかに差し切ってゴール。昨年のナナカマド賞に続く重賞 2 勝目を飾りました。

2 着にはヤマトテンショウ号、3 着にはコトブキラベンダー号が入りました。

ホクセイイワキヤマ号を管理する坂本東一調教師は、メムロボブサップ号で制した 2019 年以来 2 度目の「ばんえい菊花賞」制覇。騎乗した阿部優哉騎手は同競走初制覇となりました。

記

＜ホクセイイワキヤマ号のプロフィール＞　※2026年11月1日現在
生年月日・毛色：2023年3月22日（牡3歳・鹿毛）
血統　　：父　マルニセンプー　　母　ヒカルガール　　（母父）　　ホッカイヒカル
生産者　：竹澤　一彦氏
馬主　　：(有）竹内産業
厩舎　　：坂本　東一厩舎
通算成績：22戦5勝（うち重賞2勝）



【坂本東一調教師のコメント】
レースはハラハラする場面もありましたが、勝つことが出来てとても嬉しいです。
スタートからの展開が早く、ゴールに入るまで分かりませんでした。
第二障害の上りが悪く、トップハンデで、10kg、20kgの差が大きく影響していると思いました。
障害を下りた時点で、先行する馬に間に合わないんじゃないかと思いましたが、残り半分を過ぎたところで間に合うかもしれないと思い、騎手に「諦めるな！」という気持ちで見ていました。
ばんえい大賞典を敗退してから今日まで、騎手がよく稽古してくれていました。
ばんえいダービーに向けて、さらに稽古を積み重ねていきたいと思っています。
これからも、ホクセイイワキヤマと頑張っていきます

	ので、ファンの皆さんの応援をよろしくお願いします。 【阿部優哉騎手のコメント】 ホッとしています。 トップハンデで初めての重量でしたし、風が強く馬場が乾いて重かったのでオーバーワークしないようしっかり息を入れながら、ホクセイイワキヤマのレースが出来ればいいと思っていました。 道中ペースは速く、ついていって第二障害しっかり溜めひと腰で…と思いましたが苦戦してしまいました。 下りてから馬が頑張って歩いてくれたので良かったです。 障害を下りてから自脚のある馬なので、これからもっと強い稽古をつけて、ばんえいダービーも取れるよう頑張りたいと思います。応援よろしくお願いします。

以　上

＜報道関係者　各位＞
ご不明な点がありましたら以下までご連絡ください。
なお、掲載の写真等をご使用の際は【提供：ばんえい十勝】のクレジットの記載をお願いいたします。
ばんえい十勝　広報担当　藤田・中村・髙尾・岩渕
〔電話〕帯広競馬場　0155-34-0825㈹
※火・水曜除く9:30～18:15　ナイター開催日（土・日・月）12:30～21:15
〔ばんえい十勝公式ホームページ〕https://www.banei-keiba.or.jp/